

はじめに

本書は蘇州大学図書館に所蔵される『珍珠塔宝卷』、『玉蜻蜓宝卷』、『白蛇宝卷』、『趙五娘琵琶宝卷』、『日蓮三世宝卷』の写真と校訂テキスト、及びその解説（梗概と校勘記）からなる。

中国では宝卷と呼ばれる宗教芸能が昔からおこなわれ、そのテキストは明清以降繰り返し書籍として刊行されている。金沢大学日中無形文化遺産プロジェクトでは、2007年より蘇州大学文学院と中国の芸能に関する共同研究を開始し、2010年からは蘇州大学図書館の支援も受けて、同館に所蔵される宝卷の整理・校勘と電子ファイル化を進めてきた。宝卷は、成立時期や思想、形態、題材などによりいろいろと分類が可能であるが、本プロジェクトではその中でも娯楽性が強く、通俗文学と関わりが深い「物語宝卷」に狙いを定め、11部の宝卷の電子化と校勘の作業をおこなった。本書には収録されていない6部の宝卷については後日改めて公表する予定である。

5部の宝卷の校勘と梗概の執筆については、弾詞『珍珠塔』に引き続き蘇州大学文学院の汪平教授にお願いした。蘇州語の研究者である汪教授の助勢無くしてここまで精密な校勘は出来なかったであろう。また、宝卷の画像データ作成と入力、標点をつける作業については、蘇州大学図書館古籍特蔵部の趙明主任と張若雅、張敏、朱琴、孫琴、康芳芳各先生より全面的なご支援をいただき、入力データの点検は薛維源先生のお手を煩わせた。本書刊行の日が近づくに当たり、これまでご支援、ご協力いただいた方々のお名前を誌し、深甚の謝意を表する次第である。

（上田 望）